

2018(平成30)年 神無月末 (師走9日に改定)

同期生諸氏 各位

『永遠の朗読劇場—菊地久治作品集と千葉高生— (菊地久治先生遺稿集)』
刊行案内と賛助のお願い

「菊地久治先生遺稿集」刊行委員会
千葉高43同期生有志 (文責 板見)

拝啓

そこ此処に深まる秋聲を聴く時節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。千葉高43同期会報メール(伊藤事務局長配信)では、かねて親御様の訃報連絡から、近年は配偶者やご本人の哀しい知らせに移行しつつあります。諸姉諸兄、どうぞ古稀を当面の目途に尚一層のご健康に留意なされますようお願い上げます。

さて標記の件ですが、下記同期会サイトにもかねて報告の通り、伝統的な我が母校の教師陣の中でも稀有な人気を今に保つ国語科の菊地久治先生の遺稿集を刊行すべく取組んで参りましたが、この度、完成原稿を印刷所へ入稿、A5版440頁(巻頭写真6頁,索引12頁,年譜付)の本の刊行に至りました。

振り返れば、菊地先生の千葉高ご転出後の情報は杳として知れませんでした。高橋情報によって伊藤事務局長が国会図書館で検索、文芸誌に掲載された評論十数篇の所在を発見。次いで学生時代の小説三篇を入手、十分に遺稿集たる分量を得ました。更には千葉高時代の学校新聞・図書館報などで熱く語られた文学・哲学分野への入門読書ガイド、且つ「朗読の美学」なる朗読会宣言や「フロイド論考」、それらの文章も併催致しました。特に「菊地劇場」たる「朗読会」の教室実践への(A君こと嶋田君による小説レベルのレポートに触発された)我々同期生からの感想と思い出の数々は、菊地先生の棺に捧げる花束のように今回の遺稿集を飾ることになるでしょう。菊地先生に接した者だけの「思い出話集」を越え、世に遺すに足る価値あるものと存じます。母校図書館、国会図書館等への寄贈含めて、100部限定の頒布書籍と致しました。

つきましては、この「菊地先生遺稿集」の刊行資金の件ですが、43同期会サイトの菊地先生のコーナーに沢山の思い出を寄せて頂き、今回の「菊地本」にも再掲載させて頂く皆さまを初め、上記遺稿集の刊行趣旨にご賛同頂ける方々にご協力をお願い申し上げる次第です。どうぞお手にされて半世紀の時を遡って頂きたく存じます。

敬具

記

- 1) 1口3,000円のご協力をお願い頂ければ幸いです。
- 2) 振込口座：ゆうちょ銀行 [店番]〇〇八 [預金種目]普通預金 [口座番号] 7779079 [名前]タカハシ ヨシアツ
(会計係 高橋良当)

★本の発送を希望の方は、その旨を明記し、お届け先住所を忘れずに記載願います。

- 3) 参照：県立千葉高昭和43年卒業生同期会サイト(菊地久治先生の思い出)

<http://chiba43.mane-ana.co.jp/kikuchi.html>